



京都市立洛友中学校 主として夜間部(二部学級)の概要

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

1. 学校基本情報

校 名 : 京都市立洛友中学校

所 在 地 : 京都市下京区大宮通綾小路下ル綾大宮町 51-2

T e l : 075-821-2196

F a x : 075-821-2196

e-mail : rakuyu-c@edu.city.kyoto.jp

開 設 : 平成 19 年 4 月 1 日 (旧郁文中学校を引継ぎ, 新たに開校)

不登校児童生徒等を対象とする特別の教育課程を編成して教育を実施する学校に関する指定要項 (平成 17 年 7 月 6 日文部科学大臣決定) に基づく指定校 (平成 19 年 3 月 16 日指定)

【教職員数】

校長	1
教頭	1
教員 (常勤講師を含む)	11
養護教員	1
事務職員	1
管理用務員	1
非常勤講師	5
スクールカウンセラー	1
総合教育支援員	2
図書教育支援員	1

【校時表】

学 活	13:30~13:40(10分)
1校時	13:40~14:30(50分)
2校時	14:40~15:30(50分)
3校時	15:40~16:30(50分)
4校時	16:35~16:50(15分)
5校時	17:00~17:30(30分)
6校時	17:30~18:40(70分)
給 食	18:40~19:10(30分)
7校時	19:10~20:20(70分)
学 活	20:20~20:35(15分)

↑ 昼間部

↓ 夜間部

※ 5校時は, 昼間部・夜間部生徒の交流学習

※ 火・金の6校時は昼間部・夜間部合同授業

【生徒数】

	1年生		2年生		3年生		計		合計
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	
男子	1	0	1	1	2	9	4	10	14
女子	1	5	1	5	3	22	5	32	37
合計	2	5	2	6	5	31	9	42	51

◆夜間部卒業生数・・・ 583名 ◆夜間部高等学校進学者・・・ 158名
(昭和43年度:1968~平成25年度:2013年の累計)

2. クラス別生徒数

夜間部	1 組	2 組	3 組	4 組	計	昼間部	5組
1 年	3	2	0	0	5	1 年	2
2 年	2	0	3	1	6	2 年	2
3 年	3	9	8	11	31	3 年	5
合 計	8	11	11	12	42	合 計	9

3. クラス編成

- ◆ 基本的に、生徒各々の日本語の習熟度による編成を行っている。学習内容は、同じクラスでも個々の習熟度により異なる。1・2組においては、生徒の読み書き能力から、国語（日本語理解を含む）の時間数を多くする。
- ◆ 不就学・小学校教育未修了である生徒も在籍する実態に対応するため、指導内容の範囲は、小学校1年～中学校3年までの9ケ年にわたる。
- ◆ 学力的に多様化した幅広い生徒層が在籍しているため、3学年複式の4学級編成とし、各学級には担任をおく。
- ◆ 実技教科においては、それぞれ1・2組、3・4組の学級を合併。各クラス内での複式授業・個別指導の工夫を行なって学力の充実を図っている。隔週に2時間授業（週当たり1時間）を行う。
 - 音楽・技術家庭 … 1・2組、3・4組・昼間部5組をそれぞれ合併
 - 美術・保健体育 … 1・2組・昼間部5組、3・4組をそれぞれ合併
- ◆ 全クラスの各授業には、基本的に学生ボランティアが、学習支援にはいる。
*学生ボランティア・・京都市教育委員会「学生ボランティア」学校サポート事業による。
- ◆ 25年11月より専門の非常勤講師による日本語指導を課外にて開始（週3日、1日2部制）。
- ◆ 26年度より講座選択制を導入（週3コマ）し、専門の常勤講師による日本語指導を開始。

4. 生徒の年齢構成

夜間部	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
男	0	0	1	1	0	6	2	0	10
女	0	0	1	0	5	15	10	1	32

平均年齢 65.5歳

5. 年間行事（今年度）

	上 旬	中 旬	下 旬
4月	離・着任式 始業式 入学式・激励会 新入生オリエンテーション	身体計測 給食開始 体験入学(昼間部)	校内研修(生徒理解)
5月	転入学歓迎会(昼間部)	校内研修(生徒理解) 検尿 心電図 家庭訪問(昼間部)	生徒会認証式 遠足(大阪万博公園)
6月	昼間部定期テスト①	教育相談 校内研修 授業参観(学校公開) 球技大会 宿泊学習 STEP(昼間部)	科学センター学習(夜間部)
7月	昼間部定期テスト② 夜間部前期テスト	学校評価 心肺蘇生法講習 保護者懇談会(昼間部)	夏季休業 自然体験学習 STEP 家庭訪問(夜間部)
8月	夏季休業 中人研集会 生徒指導夏季研修会 家庭訪問(夜間部)	夏季休業 家庭訪問(夜間部) 全外教(広島)	洛風・洛友合同研修会 校内研修(人権・生徒指導等) 多文化学習
9月	耳鼻科検診	後期体験入学(昼間部)	文化祭
10月	後期転入学歓迎会(昼間部) 市人教	校内研修(道徳・総合学習)	職場体験学習(昼間部)
11月	東九条マダン 修学旅行	学校評価 校内研修	昼間部定期テスト③ 夜間部後期テスト 教育相談(昼間部) 全夜中研大会(東京)
12月	人権月間 全人同教	教育相談(夜間部) 科学センター学習(昼間部)	年末懇親会 学校評議会 避難訓練 冬期休業
1月	書き初め 夜間部願書受付開始	進路説明会	文集編集 昼間部3年定期テスト④
2月	入試面接練習 公立高校前期入試・成人入試 夜間部願書締切 民族文化にふれる集い	夜間部入学希望者登校 校内研修	学力調査 入学希望者面接 人権交流京都市集会 昼間部1・2年定期テスト④
3月	公立高校中期入試	送別激励会 学校評価 卒業式	修了式 春季休業

6. 沿革

1950(昭25)	5	京都市内12中学校に二部学級開設
1953(昭28)		市内二部在籍生徒599名でピークとなる
1954(昭29)		二部設置中学校14校となる 第1回全夜中研大会 洛東中で開催
1967(昭42)	12	学齢超過者対象の二部学級設置校を郁文中学校に決定
1968(昭43)	5.1	郁文中学校二部学級開設(3学級) 専任教諭3名 入学生徒8名
1969(昭44)	4.1	2学級。専任教諭2名に減少。複式授業開始
1970(昭45)	3.31	学齢生徒対象の二部学級全廃。郁文中学校のみで夜間中学校を存続
1976(昭51)	4.1	3学級に増加 専任教諭3名 単式学級実現
1977(昭52)	4	学年をはずしたクラス編成となる
1978(昭53)	4.1	専任教諭4名に増加
1979(昭54)	11.21	第25回全国夜間中学校研究大会開催(於:京都社会福祉会館)
1987(昭62)	7.27	校舎改築のため、昼間とともに仮校舎(下京区中堂寺坊城9-3)へ移転 HR教室二部専用となる
1988(昭63)	4.1	複式4学級へ認定変更
	9.20	新築となった現校舎へ再移転。北校舎1F5教室が二部専用
	10.8	新校舎竣工式
1992(平4)	6.1	嘱託による非常勤養護職員配置
1997(平9)	4.1	専任教頭配置
1998(平10)	4.1	女性教諭・養護職員配置
	5.1	創立30周年を祝う会開催
1999(平11)	4.1	専任養護教諭配置
	7.12	京都市教育委員会パイオニア研究
2000(平12)	5.1	総合学習開始
	5	京都市立二部学級研究会が教育功労者表彰受賞
	11	京都市教育委員会パイオニア研究(二年次)
	11.24	京都市立二部(夜間)学級50周年式典
2001(平13)	3.8~9	他府県の二部学級視察(広島市)
	10.1	給食導入 各組に電子レンジ配置
2002(平14)	3.14	エレベーター開設
	4.1	完全週5日制実施・快適トイレ完成・市教委より車椅子2台配分
	12	全国夜間中学校研究大会にて、生徒会活動について発表
2003(平15)	4.1	展示ボード及び玄関入り口照明設置
	12	パイオニア実践研究で東京荒川九中夜間視察
2005(平17)	8・23	全国外国人教育研究大会にて、自分史づくりの取組発表
	12.2	全国夜間中学校研究大会にて、自分史づくりの取組発表
2006(平18)	4.1	二期制開始
2007(平19)	3.31	郁文中学校閉校[下京5中学校の統廃合による]

2007(平19)	4.1	洛友中学校開校（昼間部・夜間部併設）文科省による教育課程実践校 不登校を経験し克服しようとする生徒と夜間二部生徒が共に学ぶ学校 所管（学校指導課から生徒指導課へ）の変更
	4	金工室を洛友サロンに改修（特に昼間部の集会室や教室として利用）
	5.1	学齢期の生徒の転入により，不登校を克服する教育課程の本格実施
2008(平20)	4.1	重度障害者通所介護施設「じゅらく」の仮所（11月まで旧木工室改修）
	5.1	「ふれあいの杜『四条大宮』学習室」を本校3階に開設
2009(平21)	3.1	洛友中校歌の額 [村岡徹氏筆]（郁文創設40周年記念）体育館に設置
	8	全国外国人教育研究大会（広島）にて研究発表
	11	全国人権同和教育研究大会（四日市）で研究発表
2010(平22)	4	文部科学省より人権教育研究指定校
2012(平24)	4	文部科学省より中学校夜間学級調査研究委託校
	8	環境整備（南校舎2階廊下及び教室壁面・天井塗装， 南校舎1～2階階段壁面塗装，全教室扉塗装，図書室オープンスペース化等）
	11	昼間部と夜間部が一体となった活動において教育功労者表彰受賞
2013(平25)	2	京都芸術教育コンソーシアム作品展開催
	4	通年制開始 「豊かな学びリーディングスクール」研究推進校
	10	「豊かな学びリーディングスクール」公開授業（京都芸術教育コンソーシアム）
2014(平26)	2	環境整備（□ 南校舎2～3階階段壁面・天井塗装， 南校舎1・2階廊下及び階段照明増設，北校舎1～2階階段照明増設等）
2014(平26)	4	「豊かな学びリーディングスクール」研究推進校

7. 教育実践の主な活動

- (1) 習熟度別及び日本語能力別のクラス編成の工夫による基礎学力の充実。
- (2) 個人の学習履歴や能力・生活体験に合わせた教材・教具の開発と研究。授業でのグループ学習・個別指導の徹底化。学生ボランティアの活用。
- (3) 専門の常勤講師による日本語教室の教育課程内での実施（課外でも週3回実施）。国語科との連携による表現力指導の充実。
- (4) 生徒のニーズに合わせた講座制授業の実施。
- (5) 学びや体験の履歴、自己表現の場としての文集「夜空」の編集発刊（年1回）。
- (6) 「交流の時間」を活用した「道德の時間」、「総合的な学習の時間」の実施（昼間部との交流）。
- (7) 生徒会活動・学校行事・清掃活動などの工夫による学校生活の活性化。
- (8) 徒歩及び自動車・交通機関を利用する生徒への安全教育（地元の警察との連携）。
- (9) 健康や学習相談のための夏期集中家庭訪問。

8. 今後の課題（学習指導や生徒指導を中心に）

- (1) 新規入学生徒の拡大・多様化する学力差に応じた指導法。
 - * 生徒の年齢層の幅の広さ（32歳～82歳）に対する柔軟な教え方。
 - * 基礎的・基本的学力不足の生徒への効果的な学習指導。
 - * キャリア教育の充実（進学希望生徒への適切な進路指導）。
- (2) 進度別・適応別クラス編成の工夫による学習の一層の充実化（講座制授業の工夫）。
- (3) 言語活動の充実（昼夜生徒の表現力の向上⇒「豊学びリーディングスクール」事業の活用）。
- (4) 複雑で多様な心理や実態・背景をもつ生徒の集団づくりに向けての学活。
- (5) 外国籍及び外国にルーツのある生徒への日本文化指導（道德教育の充実）。
- (6) ICT教育の充実（iPad活用の工夫）。
- (7) 図書館教育の充実（学校図書教育支援員事業の活用）。
- (8) 教員数の増員、非常勤講師の時間増（出張や部会等による授業の時間割の組替えが困難）。
- (9) 昼夜教員の授業の持ち合いによる昼夜それぞれの打合せ時間の確保。
- (10) 高年齢生徒の健康管理・食育と、通学経路での安心・安全教育。
- (11) 心理的不安による欠席傾向・遠距離の通学生徒の就業や就学対策。
- (12) 学生ボランティアの有効な活用・大学および教育委員会との連携。
- (13) 不登校生の夜間部への編入学。
- (14) 本校の教育活動の広報活動や情報宣伝の工夫（ピラづくり等）。
- (15) 平成27年度全国夜間中学校研究会「京都大会」に向けた研究体制と発表準備。
- (16) その他
 - * 近畿の夜間中学校や全国の夜間中学校などの取組や成果から学ぶこと。
 - * 京都市立中学校各教育研究会との連携に努めること。
 - ・二部学級部会や中人研外国人教育部会など。
 - ・京都市立池田小学校など中国からの帰国保護者やその子女の教育実践。
 - * 生徒指導部会や不登校を経験し克服しようとする学齢期の生徒に学ぶこと。

校歌 心抱いて 作詞 山本純子 作曲 平田あゆみ

いいたかったことばを	なんでもないことばを	とっておきのことばを
そっとつぶやいて	ふっとおもいだし	ぐっとにぎりしめ
いつかはと思う	しあわせ感じる	勇気ふりしぼる
そんな日がある	そんな日がある	そんな日がある
花が風にゆれるように	鳥が羽をひらくように	雲が空をはしるように
わたしはまよいながら行く	わたしはうたいながら行く	わたしはさそいながら行く
この道はるか	この道はるか	この道はるか
心抱いて	心抱いて	心抱いて